

1. 研究名称：『腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合法に関する多施設共同後ろ向き観察研究』
2. 目的：胃の上部に位置する胃癌に対する外科治療のひとつとして、腹腔鏡下胃全摘術という術式があり、当科でもこの方法を採用しています。この手術では、胃を全部摘出した後に食道と空腸をつなぎ合わせて（食道空腸吻合）、食物が通るようにする必要があります。その食道空腸吻合にはいくつかの方法がありますが、本研究では、それぞれの方法の安全性と有用性を明らかとすることを目的としています。具体的には、つないだ部分の狭窄、出血、縫合不全などの合併症について、それぞれの方法を比較し、検証します。
3. 研究期間：
研究対象登録 2010年1月から2016年12月までに手術を行った症例
研究期間 調査期間1年（予定期間：2017年10月から2018年9月まで）
解析期間6か月（予定期間：2018年10月から2019年3月まで）
4. 倫理委員会の審査：本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会、各施設の倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。
5. 研究機関名：京都大学消化管外科
研究責任者：坂井義治
6. 情報の利用について：京都大学消化管外科およびその他の研究参加病院にて2010年1月から2016年12月までに胃の上部に位置する臨床病期I～III期の胃癌とはじめて診断され、腹腔鏡下胃全摘術を施行された患者さんを対象とし、カルテより情報を抽出します。
7. 共同研究機関：

公益財団法人天理よろづ相談所病院	門川佳央
神戸市立医療センター中央市民病院	近藤正人
神戸市立医療センター西市民病院	田中英治
神戸市立西神戸医療センター	伊丹淳
滋賀県立成人病センター	山本秀和
社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院	間中大
地方独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院	松尾宏一
地方独立行政法人市立大津市民病院	岡部寛
独立行政法人国立病院機構京都医療センター	畑啓昭
独立行政法人国立病院機構姫路医療センター	佐藤誠二
日本赤十字社大阪赤十字病院	金谷誠一郎
日本赤十字社和歌山医療センター	山下好人
8. 情報の利用の拒否また管理について：研究対象とならないことを希望する際にはご連絡

をいただければ、情報の削除が可能です。情報の集計にあたっては匿名化の後に行い、個人情報を研究組織から外部へ提供することや臨床研究の目的以外に使われることはありません。また、研究発表に際し、お名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。11. 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧は可能です。その場合は下記までご連絡ください。

9. 相談窓口：

相談等窓口の名称：京都大学消化管外科医局

担当者：小濱 和貴、村上 克宏

連絡方法：連絡先 075-751-3111(代)

京都大学の相談窓口：医学部附属病院 総務課 研究推進掛 (tel) 075-751-4899